⑸　Time-limit for the submission of tenders by electronic bidding system : 12 : 00 P.M. (noon) 25 December 2012 (tenders brought along 12 : 00 P.M. (noon) 25 December 2012 or tenders submitted by mail 12 : 00 P.M. (noon) 25 December 2012)

⑹　Contact point for tender documentation : Satoru Furuhara the first subsection chief Contract Division, Kinki Regional Development Bureau Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism 1―5―44, Otemae Tyuou-Ward, Osaka-city, 540―8586, Japan TEL 06―6942―1141

○第２号

１　工事概要

⑴　品目分類番号　41

⑵　工事名　那智勝浦道路市屋第二トンネル工事（電子入札対象案件）

⑶　工事場所　和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市屋地先

⑷　工事内容　工事延長Ｌ＝604m　道路トンネル（ＮＡＴＭ）（２車線）（代表内空断面積76.1㎡）Ｌ＝419m、坑門工２基、土工（盛土）4,320㎥、現場打ち函渠工３基（Ｈ＝1.8ｍ×Ｗ＝2.0m　Ｌ＝41.8m　１基、Ｈ＝4.4ｍ×Ｗ＝2.0m　Ｌ＝17.5m　１基、Ｈ＝4.7ｍ×Ｗ＝7.8m　Ｌ＝13.5m　１基）

⑸　工期　契約締結日の翌日から平成27年２月28日まで。

⑹　使用する主要な資機材

コンクリート　9,460㎥、鋼材610ｔ（支保工込み）

⑺から⑾までは第１号１⑺から⑾までに同じ。

２　競争参加資格

⑴から⑷までは第１号２⑴から⑷までに同じ。

⑸　平成９年度以降に元請として完成し、引渡しが完了した下記㋐の要件を満たす工事（発注機関は問わない。以下「同種工事」という。）の施工実績（以下「同種工事の実績」という。）を有すること（共同企業体構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。

㋐　道路トンネル（ＮＡＴＭ工法による。）で、トンネル代表内空断面積（覆工後の内空断面積）が70㎡以上かつ同一トンネルにおいて施工延長が300m以上（覆工まで完了）の工事。なお、同一トンネルであれば、２契約以上の工事でも可。

なお、経常建設共同企業体（以下「経常ＪＶ」という。）にあっては、構成員のうちの１社が平成９年度以降に元請として完成し、引渡しが完了した同種工事の実績を有するとともに、その他の構成員はそれぞれ平成９年度以降に元請として完成し、引渡しが完了した下記㋑の要件を満たす工事（発注機関は問わない。）の施工実績（以下「その他構成員の実績」という。）を有すること（共同企業体構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。

㋑　道路トンネル（ＮＡＴＭ工法による。）の工事。

同種工事の実績及びその他構成員の実績が国土交通省が発注した工事のうち入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、工事成績評定点合計が入札説明書に示す点数未満であるものを除く。

⑹から⑿までは第１号２⑹から⑿までに同じ。

３　総合評価に関する事項

⑴　入札に関する事項

⒜　「工事目的物の性能・機能の向上に関する事項」を評価項目とし、具体的には以下のとおりである。

㋐　中間部の低土被り区間における施工方法の工夫とその効果

㋑　覆工コンクリートの品質の確保、向上のための施工方法の工夫とその効果

⒝　「施工体制」についての評価項目は以下のとおりである。

㋐　施工体制確保の確実性

㋑　品質確保の実効性

⒞　総合評価の方法は、次の要件に該当する者のうち、下記⑵によって得られる標準点と入札参加者それぞれの提案の評価による加算点の合計を入札価格で除した数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。

㋐　入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

㋑　上記⒜及び⒝の内容が適正であること。

㋒　評価値が標準点を予定価格で除した数値を下回らないこと。

⑵　提案について

⒜　入札説明書に記載された要求要件を実現できると認められる場合には、標準点として100点を与えるものとし、「中間部の低土被り区間における施工方法の工夫とその効果」及び「覆工コンクリートの品質の確保、向上のための施工方法の工夫とその効果」についての評価の配点は、それぞれ30：20とし、指定テーマの得点（素点）の合計点を技術評価点とする。

⒝　施工体制については、「施工体制確保の確実性」及び「品質確保の実効性」について３段階で判定し、その評価に応じて、それぞれ15／５／０点の加算点を与えるものとする。

⑶から⑷までは第１号３⑶から⑷までに同じ。

４　入札手続等

⑴から⑷までは第１号４⑴から⑷までに同じ。

⑸　入札書の提出方法及び入札・開札の日時並びに場所　入札書は、電子入札システムにより提出すること。ただし、紙入札方式による場合は、書面により持参又は郵送（書留郵便に限る。）すること。

⒜　電子入札システムによる入札の締切は、平成24年12月25日正午。

⒝　書面により持参する場合は、平成24年12月25日正午までに近畿地方整備局総務部契約課に提出すること。

⒞　郵送による入札書の受領期限は、平成24年12月25日正午（郵送による入札書の提出場所は、近畿地方整備局総務部契約課）。

⒟　開札は、平成24年12月27日午前11時00分近畿地方整備局総務部契約課入札室にて行う。

５　その他

５は第１号５に同じ。

６　Summary

⑴, ⑵, ⑷, ⑸, ⑹　the same with notice above (No. 1)

⑶　Subject matter of the contract : Construction work of the Ichiya Daini Tunnel in Nachi Katuura road

○第３号

１　工事概要

⑴　品目分類番号　41

⑵　工事名　第二阪和国道大谷西地区改良他工事（電子入札対象案件）

⑶　工事場所　（自）大阪府泉南郡岬町淡輪地先（至）大阪府泉南郡岬町深日地先

⑷　工事内容　工事延長Ｌ＝765.1m　道路土工１式（切土404,400㎥（土砂71,600㎥、軟岩328,400㎥、中硬岩4,400㎥）、盛土47,400㎥）、法面工（植生工）27,600㎡、橋梁下部工２基（鉄筋コンクリート橋台（Ｈ＝7.0m）２基、深礎杭工４本（φ3,000（Ｌ＝10.0m　２本）、（Ｌ＝11.0m　２本））、現場打ち函渠工２基（（Ｗ＝2.4m×Ｈ＝2.5m　Ｌ＝19.1m　１基）、（Ｗ＝2.7m×Ｈ＝3.4m　Ｌ＝92.8m　１基））、補強土壁工（Ｈ＝1.0mからＨ＝12.7m）Ｌ＝95.1m

⑸　工期　契約締結日の翌日から平成27年２月28日まで。

⑹　使用する主要な資機材

コンクリート3,570㎥、鉄筋231ｔ

⑺は第１号１⑺に同じ。

⑻　本工事は、施工管理データを搭載したＴＳ（トータルステーション）による出来形管理及びＴＳ・ＧＮＳＳを用いた盛土の締固め管理を行い、ＭＣ（マシンコントロール）ブルドーザ技術により施工を行う情報化施工技術活用対象工事である。

⑼から⑿までは第１号１⑻から⑾までに同じ。

２　競争参加資格

⑴から⑷までは第１号２⑴から⑷までに同じ。

⑸　平成９年度以降に元請として完成し、引渡しが完了した下記㋐から㋔までの要件をすべて満たす工事（発注機関は問わない。以下「同種工事」という。）の施工実績（以下「同種工事の実績」という。）を有すること（共同企業体構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。

㋐　掘削（又は切土）の土量が100,000㎥以上の道路工事。

㋑　盛土量（又は埋戻し量）が10,000㎥以上の道路工事。

㋒　道路橋（ＴＬ－20以上で、Ａ活荷重のものを除く。）又は鉄道橋（モノレール及び新交通は除く。）の工事。

第明治三十二種郵便物認可　三十五年三月三十一日